



芝山町社協だより まごころの あしなわ

学びを 楽しんで

'24年9月発行
Vol.127



インターナショナルジュニアアカレツジ 福祉体験

7月15日に空飛ぶ学び舎ラボ・航空科学博物館にて、芝山町子ども会育成協議会主催のイベントが開かれました。参加した町内の子どもたち31名は、スプリング・ジャパン株式会社の客室乗務員を講師に迎え、日常的に空港で使われる英単語や英会話を学びました。また、空港や航空機内を想定した車いす体験や高齢者疑似体験なども行われ、空港のノーマライゼーションについて学びました。



▲実際に見て感じて考える

今号の
特集

地域をサポートする社協を目指して
新旧会長 対談

編集発行 社会福祉法人 芝山町社会福祉協議会 芝山町飯櫃 126 番地 1 TEL0479-78-0850

ホームページ : <http://www.shibayama-shakyo.jp> E-mail: info@shibayama-shakyo.jp

この広報紙は、共同募金の配分金によって発行されています



地域をサポートする社協を目指して

新旧会長 対談



6月20日に開催された理事会で大槻和男氏が新会長に選出されました。木川優陽前会長（以下木川）から大槻新会長（以下大槻）へ受け継がれる想いとは。今後芝山町社会福祉協議会に求められることについて、じっくりとお話を伺いました。

新旧会長対談の記録です。



大槻和男 新会長



会長を退任して今、

思うこと

木川 振り返ると、いろいろな人のつながりに恵まれましたね。

前会長から引き継いで、さて、これからどうしているかと考えました。芝山町をいかに福祉という面で支えていくか。まずは、自分から動いていくことで組織や地域がひとつになっていくんじゃないかってね。福祉の窓口に来る人って、何か困りごとや助けを必要としている人ですからね。その人との出会いを大切に

するのがはじめの一步。福祉のサービスにつながると思っんです。

出会った人との縁を大切に、親切に接して対応することです。その人の記憶に残る。「あそこの社協さんならまた助けてくれるかも」ってね、さらにその人を通じて別の困っている人とつながるきっかけにもなるって思うわけです。だから、私は「人の話を聞く」ことを大切に真摯に対応することを努めて心掛けたわけです。会長としての責任感に、押しつぶされそうになったこともありすが、周りの

人たちにたくさん助けられて今に至ると思えます。

これからの社協が

目指すところ

大槻 芝山町はこの地区も子どもが少なくなりましたね。少子高齢化はあらゆる場面に影響していますよね。

木川 先に話したように、助ける人を待つのではない、自ら動いて親切丁寧なサービスを心がけることがさらに重要視されてきていますね。

大槻 声かけをきっかけに互いに少しの会話を持つこと。声を発しやすい環境や雰囲気づくりを心がけることで、人との信頼やコミュニケーションが生まれる。それこそ「福祉の定義」だと思います。

木川 身近にいる人への福祉が必要とされる時代。町の社会福祉協議会は自然と誰かを手助けできる場所であってほしいですね。
大槻 手を差し伸べる社協、相談してよかったと思える場所にならなさいですね。

木川優陽 前会長



木川 地道な積み重ねにはなると思いますが、そうした積み重ねが福祉の一端になるのかなと思います。

大槻 まだまだ町での社協の認知度はそう高くありませんからね。困っている人のもとに社協の存在が知れるまで、「困ったら、社協」だと思ってもらえるよう、ひとつひとつ丁寧なサービスを続けることに意味があるんですね。
木川 地域のリーダーとして経験豊富な大槻新会長なら、みんなで協力し合える町社協をけん引していただけると思います。ぜひ、大槻新会長カラーを出していただいて、活躍していただきたいですね。

大槻 コロナ禍も明けて、社会が普通の生活に戻りつつあります。これから再び地域の活性化を目指して、サポートする側が元気を与えられるような、楽しい組織・地域づくりを目指したいです。なんと言っても、やる側がその気で楽しくやらなきゃ、事業そのものも楽しくなりませんから。魅力的な環境づくりに貢献したいですね。みんなで地域を盛り上げていくこと。1+1=2だけじゃない、5にも10にもなるんですから。
木川 今後の活躍を大いに楽しみにしております。
大槻 本当に長い間お疲れさまでした。



おしゃれにきれいにリニューアル

福祉避難所としての機能強化のため改修中だった福祉センターのお風呂が6月1日にリニューアルして帰ってきました。家では味わえない、広々とした浴室でゆったりおくつろぎください。



▲開放的で落ち着いた空間をご提供

浴室の使用について

日時 毎週 火曜日・木曜日・土曜日（福祉センター休館日除く）
9時30分から15時まで ※15時までにお上がりください

料金 町内に住所を有する方 200円
それ以外の方 300円

○浴室には備え付けのタオルはありませんのでご持参ください

みなさまのお越しを
心よりお待ちしております

福祉センター
☎0479-78-0294



▲ひとりひとりが快適に利用できるよう配慮しています



会長理事 木川 優陽
 理事 行方 健二
 監事 飯田 晴雄
 評議員 小嶋 秀樹
 小川 行雄

役職の交代等により次の方々が退任されました。在任中は、地域福祉の推進に尽力いただき、ありがとうございました。

(以下敬称略)

退任された方々の後任に次の方々が就任されました。
 会長理事 大槻 和男
 副会長理事 飯田 晴雄
 理事 土屋 裕利
 監事 秋葉 正明
 評議員 伊橋 寿夫
 戸井 沢夫
 今後、町内の福祉事業の活性化に尽力して参りますので、よろしくお願いたします。

人事

10月1日から共同募金が始まります



「支える人」を支える募金として、「つながりをたやさない社会づくり」を目指して令和6年度共同募金運動が始まります。
 みなさまのご理解とご協力をお願いします。

敬老お祝い商品券をお送りします

令和6年度も、敬老お祝い事業は商品券をお送りします。お祝い品は9月中に敬老者の皆様のお手元にピンク色の封筒で郵送させていただきます。商品券の使用期限は令和7年2月28日です。

お問い合わせ先 芝山町社会福祉協議会
 ☎0479-78-0850

福祉センターで実施している「いきいきライフ調理実習教室」は、減塩・低カロリーメニューで、生活習慣病の予防と改善をねらいとしています。その秘伝のレシピを講師の栄養士がご紹介！



パンケーキ

【作り方】

- ① ヨーグルトは、約1時間、水切りをする(ヨーグルトは半分位の重さになる)
- ② ボウルに卵黄、水切りしたヨーグルト、グラニュー糖、牛乳を入れてよく混ぜる
- ③ ②に、薄力粉とベーキングパウダーを合わせ、ふるったものを加えてよく混ぜる
- ④ ボウルに卵白と塩を入れ、ハンドミキサーで混ぜ、グラニュー糖を加えてしっかり混ぜる
- ⑤ ③に④を2回に分けて加え、さっくりと混ぜる
- ⑥ フライパンを温め、濡れ布巾の上に置いて温度を低くし、マフィン型の中に⑤を入れる
- ⑦ 水大さじ1を入れて蓋をし、約3分焼く
- ⑧ ひっくり返し、水大さじ1を入れてふたたび蓋をし、約3分焼く
- ⑨ 皿に取り、バターをのせ、メープルシロップをかけてジャムを添える



材料 (5枚)

②	卵黄	2個
	ヨーグルト	200g
	グラニュー糖	15g
	牛乳	50g
③	薄力粉	100g
	ベーキングパウダー	小さじ1
④	卵白	2個
	塩	少々
	グラニュー糖	15g
	メープルシロップ	適宜
	バター	適宜
	ジャム	適宜

ワンポイント

ヨーグルトの水切りはボウルにザルをのせてその上にキッチンペーパーを敷き、ヨーグルトを入れ、水切りをし、約1時間冷蔵庫に入れておきましょう。



